

Ⅱ 高齢者介護施設の結果

1 利用者の年齢区分

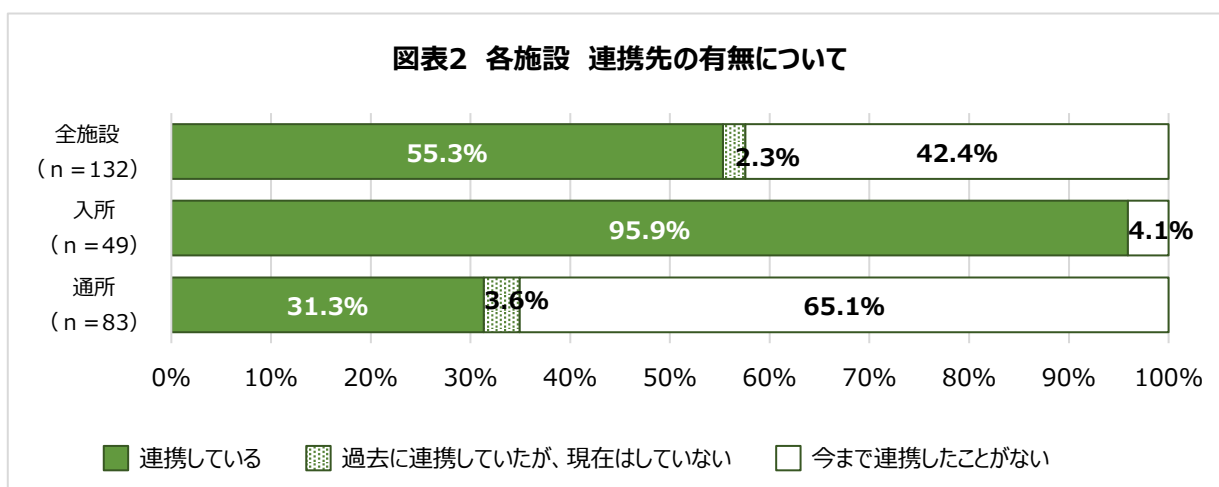
図表1 施設利用者数 単位：上段人数（人） 下段割合（%）

	回答施設数	利用者総数	18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上
全施設	132	7,685	1	115	7,569
			0.01	1.50	98.49
入所施設	49	2,446	0	43	2,403
			0.0	1.76	98.24
通所施設	83	5,239	1	72	5,166
			0.02	1.37	98.61

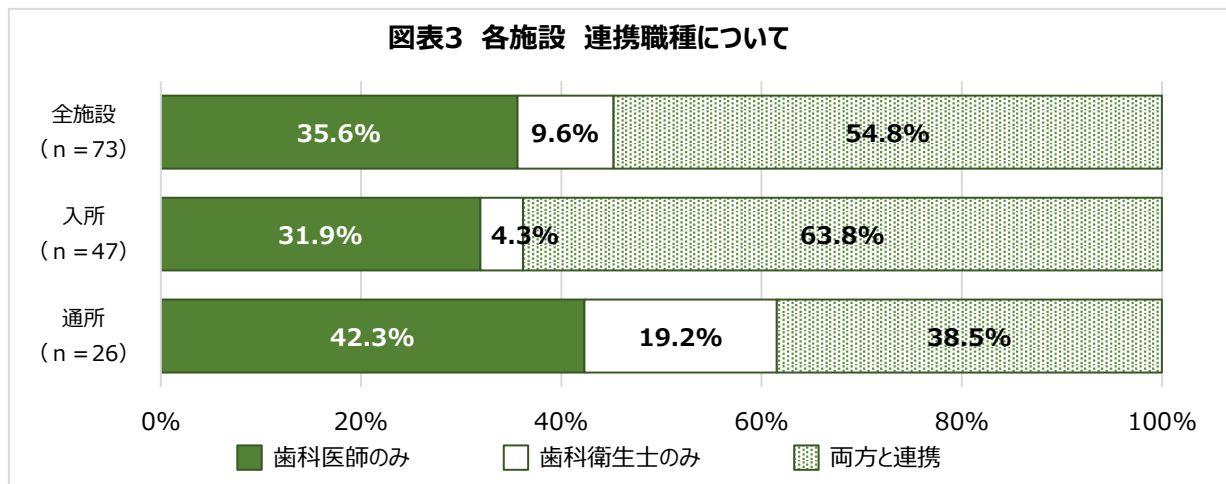
2 歯や口腔の健康管理に関する状況

(1) 利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者との連携について

連携について、入所施設は「連携している（95.9%）」、通所施設は「今まで連携したことがない（65.1%）」が一番多いです。

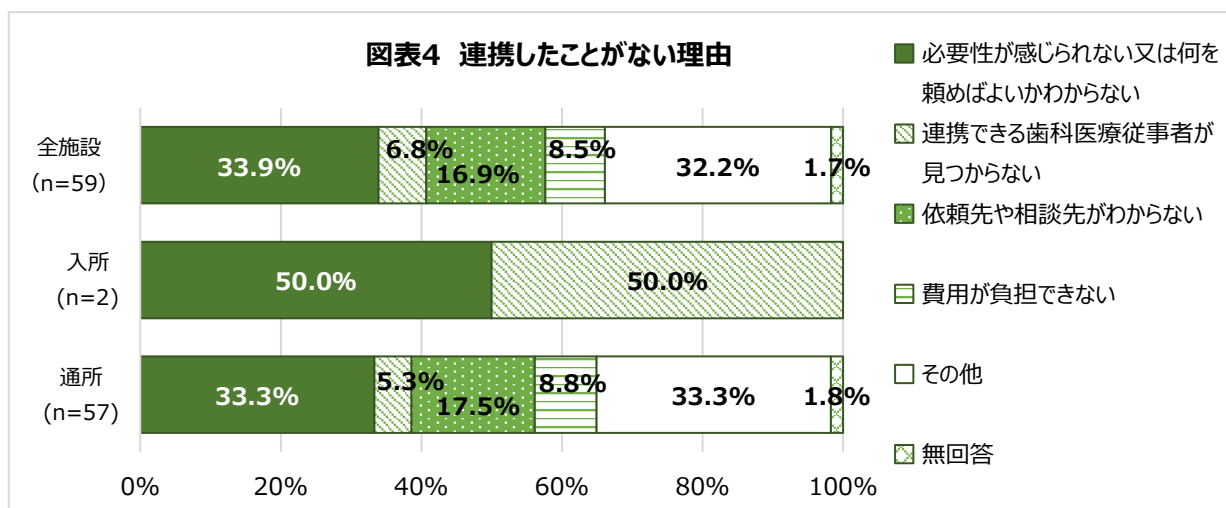


連携職種については、「連携している」と答えのうち、入所施設は「両方と連携（63.8%）」、通所施設については、「歯科医師のみ（42.3%）」が一番多いです。



(2) (1) の連携をしていない理由について

「連携していない」と答えた施設のうち、入所施設は「必要性を感じられない又は何を頼めばよいかわからない（50.0%）」「連携できる歯科医療従事者が見つからない（50.0%）」、通所施設は「必要性を感じられない又は何を頼めばよいかわからない(33.3%)」「その他(33.3%)」が多いです。通所施設の「その他」の内容に関しては「家族又は自分で」の割合が高いです。



【その他 記載内容】 通所施設のみ回答あり

家族 又は 自分で	<ul style="list-style-type: none"> ・通所事業所のため、口腔内の特変に気付いた際はご家族に報告し、歯科受診をすすめている。 ・ご家族様やケアマネージャーに連携して頂いているため。 ・個人に任せているため。 ・在宅生活となるので、自宅での訪問歯科を利用している利用者が多い。 ・併設の住宅型有料老人ホームで歯科往診があり、必要に応じて歯科医師に診察して頂いている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア加算を取っていないため。 ・半日でのサービス提供の為食事を提供していないので、必要性を感じないため。 ・看護師でも代用できるから。 ・通所で歯科との連携が必要・可能な事を知らなかった。 ・相談できる病院はあるが、どのように連携していけばいいかわからない。デイご利用中の時間に診て頂くなど。 ・併設のサ高住の利用者が多く、そこで歯医者と連携を取っているため。

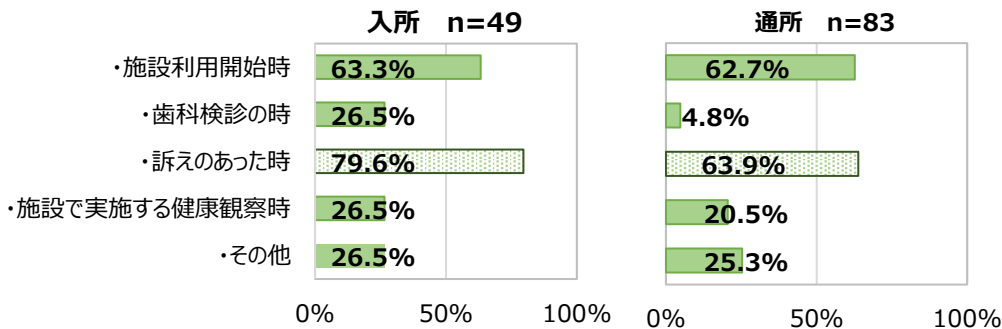
(3) 利用者の歯や口腔の管理状況について

①把握時期について（複数回答）

すべての施設は、何らかの方法で利用者の口腔内の状況を把握しています。

把握しているうち、各施設の口腔内の把握時期で一番多いのは、入所施設は「訴えのあった時（79.6%）」、通所施設は「訴えのあった時（63.9%）」です。

図表5 利用者の口腔管理状況の把握時期について（複数回答）

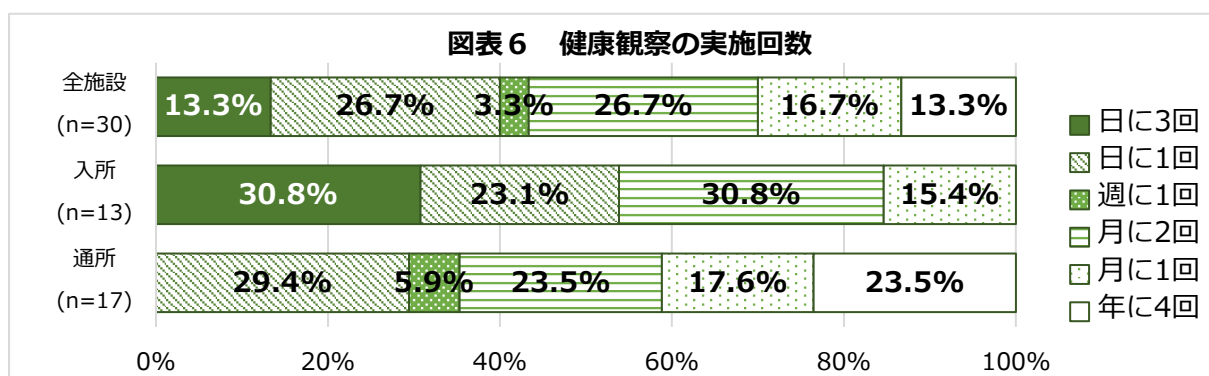


【その他 記載内容】

口腔ケア時	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の介助の際に確認している。 ・利用の際に昼食後の口腔ケア時。 ・口腔ケアに介助が必要な利用者様は介助をする際に歯や口腔の管理状況を確認している。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食後の口腔ケア実施時に看護師・介護職がわかる範囲で。 ・口腔ケア等、日常生活で気付いた時。 ・歯みがき等の時、スタッフが付いていて、歯科医院を受診した方が良いと判断した場合。
検診時等	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科の訪問診療があるのでその時に診療・指導を1回/月受ける。 ・定期的な歯科受診にて口腔ケア実施。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科受診をした等の話を聞いた際に確認。
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーによる口腔内の確認があったとき。 ・口腔機能向上加算をとっている方は3か月毎に評価。月に2回確認。 ・計画書更新毎(3ヵ月毎)に実施。1か月半後のモニタリング作成時と、3ヵ月後のアセスメント作成時に問診やRSST測定を行っています。 ・実調にて義歯の有無と家族に状態を確認している。 ・利用前の調査時に口腔状態を確認している。 ・利用開始時にかかりつけ医の確認は行っている。

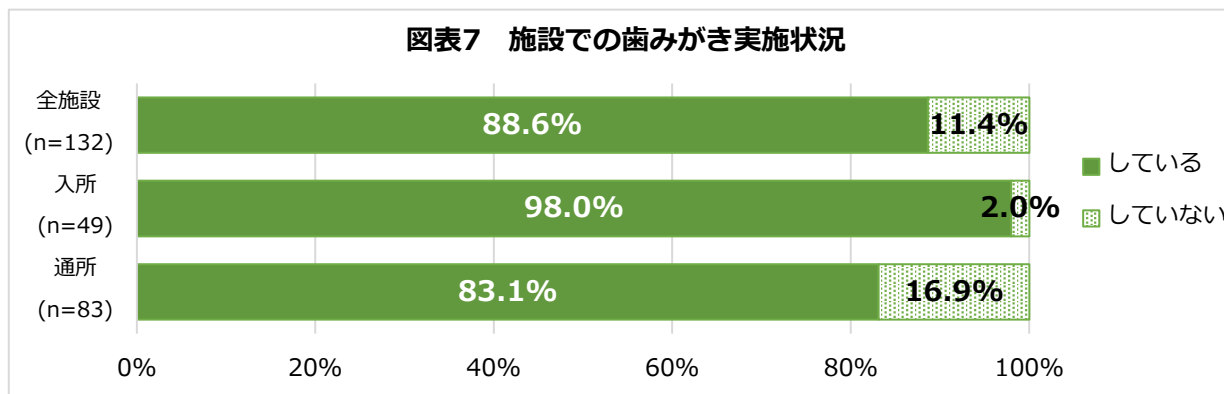
【健康観察の実施回数について】

健康観察を実施している施設のうち、実施回数が一番多いのは、入所施設は「日に3回(30.8%)」「月に2回(30.8%)」、通所施設は「日に1回(29.4%)」です。



②施設内での歯みがきについて

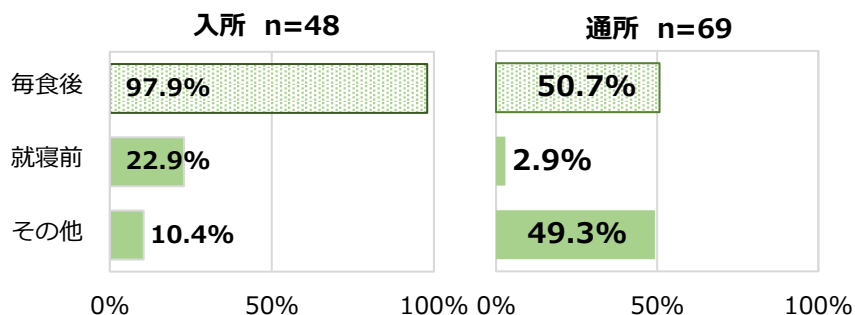
歯みがきを実施している施設は、入所施設は 98.0%、通所施設は 83.1%です。



ア) 1日の中で歯みがきを実施する時期

歯みがきを実施している施設において実施時期で一番多い回答は、入所施設は「毎食後 (97.9%)」、通所施設は「毎食後 (50.7%)」です。通所施設の「その他」の回答では、昼食後の割合が高いです。

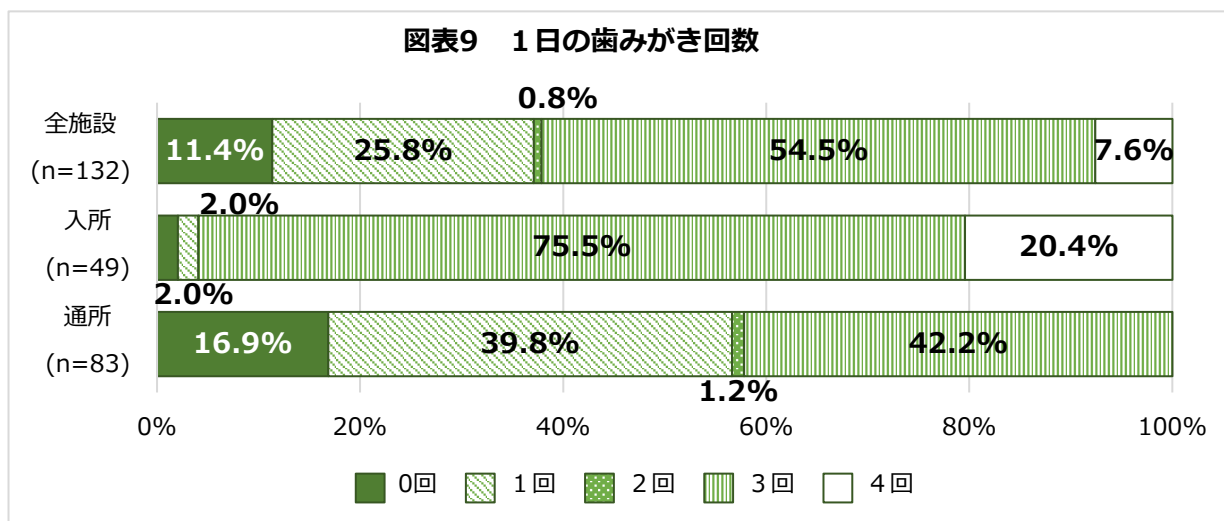
図表8 1日の歯みがきを実施する時期 (複数回答)



【その他 記載内容】

	内訳	回答内容
入所	2	起床時、食前のうがい・口腔内の拭取りの実施等
	2	経管栄養の人は食前に実施
	1	利用者ごとに違うタイミング
通所	32	昼食後
	2	個別口腔ケア算定者は来所時
	1	おやつの後
	1	できる人は毎食後

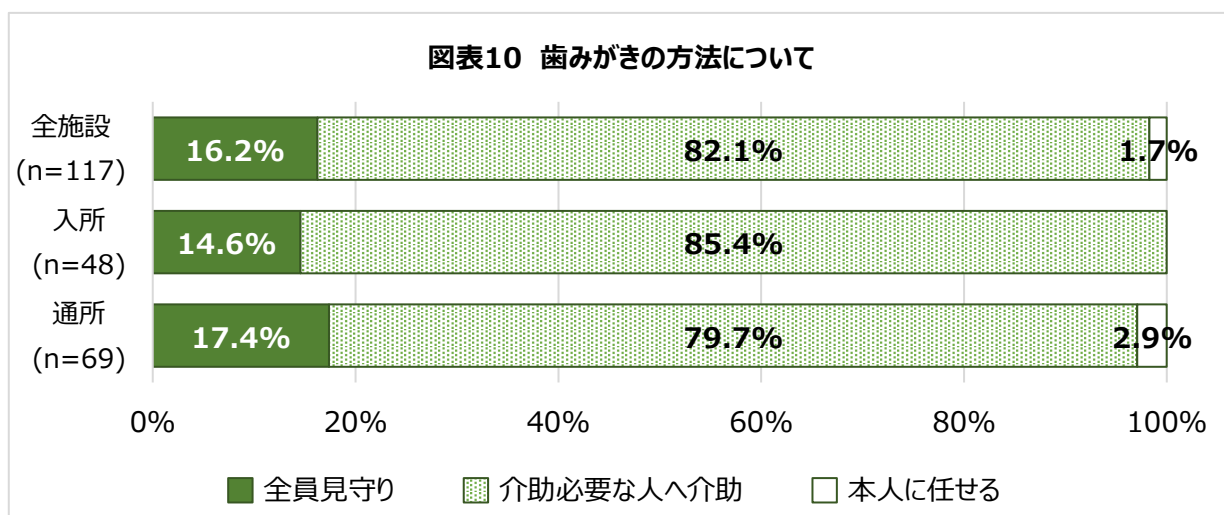
実施回数は、入所施設が「1日3回（75.5%）」、通所施設が「1日3回（42.2%）」が一番多いです。



- 1回 就寝前又はその他
- 2回 就寝前かつその他
- 3回 毎食後
- 4回 毎食後かつ就寝前、または毎食後かつその他

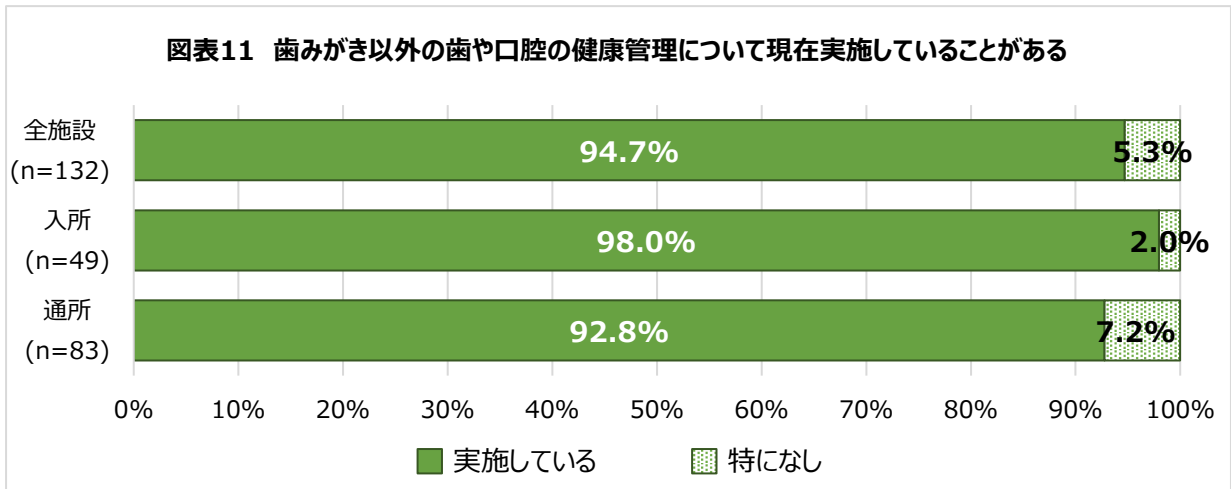
イ) 歯みがきの方法について

入所施設が「介助が必要な人へ介助（85.4%）」、通所施設は「介助が必要な人へ介助（79.7%）」が一番多いです。



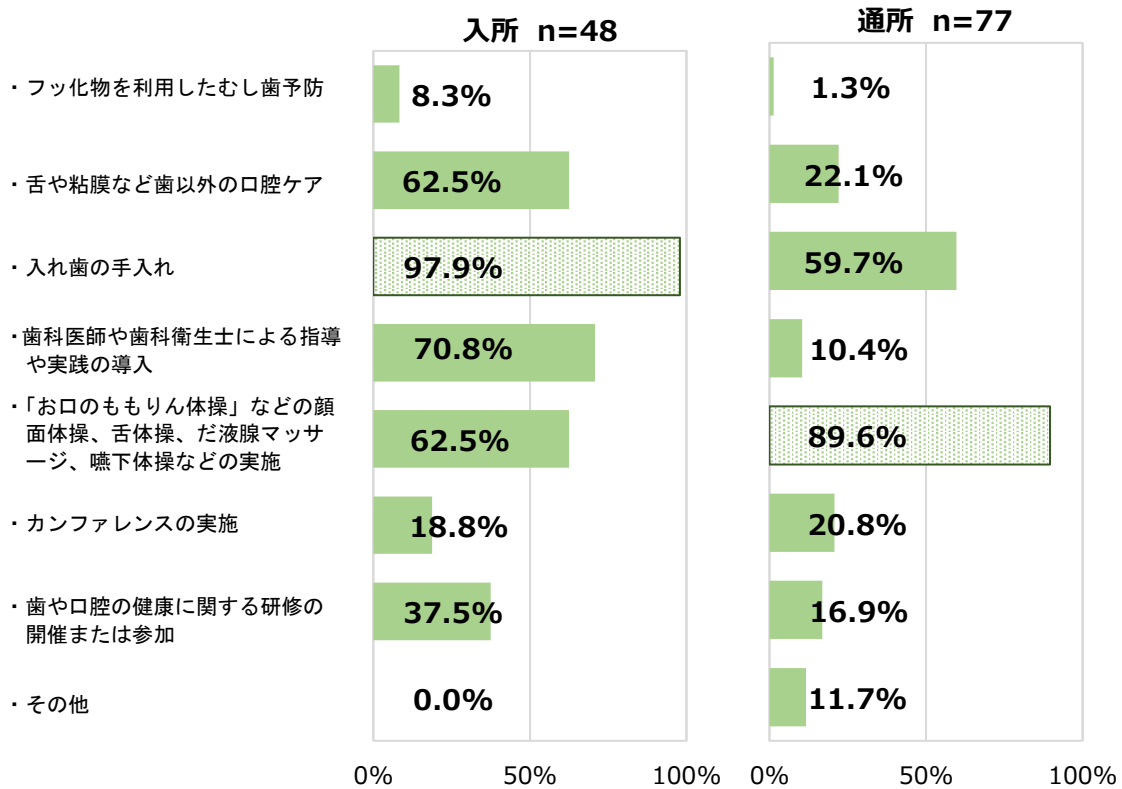
③歯みがき以外の歯や口腔の管理について現在実施していることについて

歯みがき以外の健康管理を入所施設では98.0%、通所施設では92.8%実施しています。



実施している内容は、入所施設が「入れ歯の手入れ (97.9%)」、通所施設は「『お口のももりん体操』などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施 (89.6%)」が一番多いです。

図表 12 歯みがき以外の歯や口腔の健康管理について現在実施していることについて（複数回答）



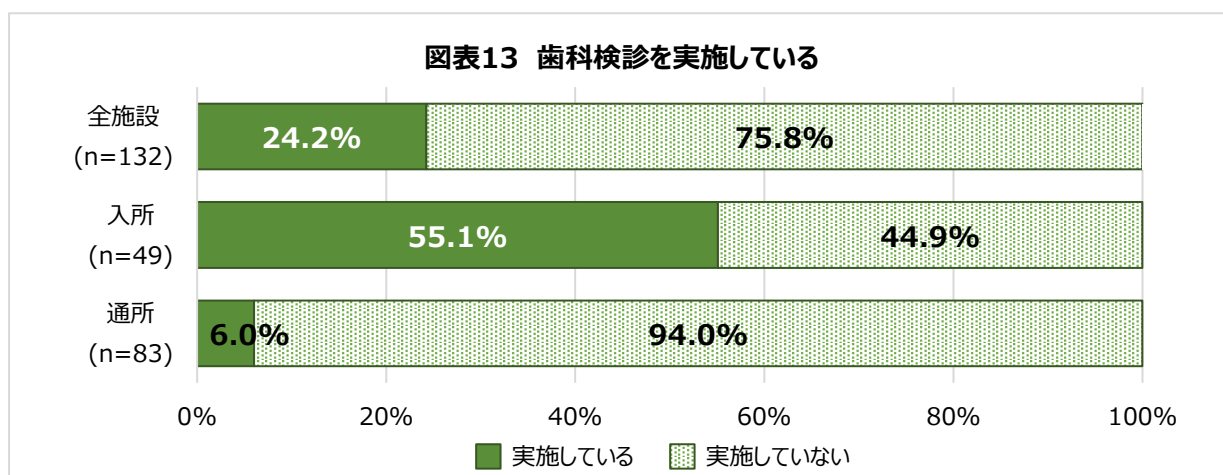
【その他 記載内容】通所施設のみ回答あり

- ・食事前の口腔体操。
- ・家族・ケアマネへの報告。
- ・定期的な問診・視認による口腔機能(咀嚼、嚥下、呼吸)の状態の確認。
- ・食後のうがい。個人に任せている。
- ・利用者の口腔状態に合わせた食事提供。
- ・利用者から口腔内の変化の訴えがある際はご家族と状態の共有または受診を勧めたり、カンファレンスにて食形態などの検討を行っている。
- ・契約時に歯科受診、往診を希望するか否かを確認して、希望者は定期的を受診している。

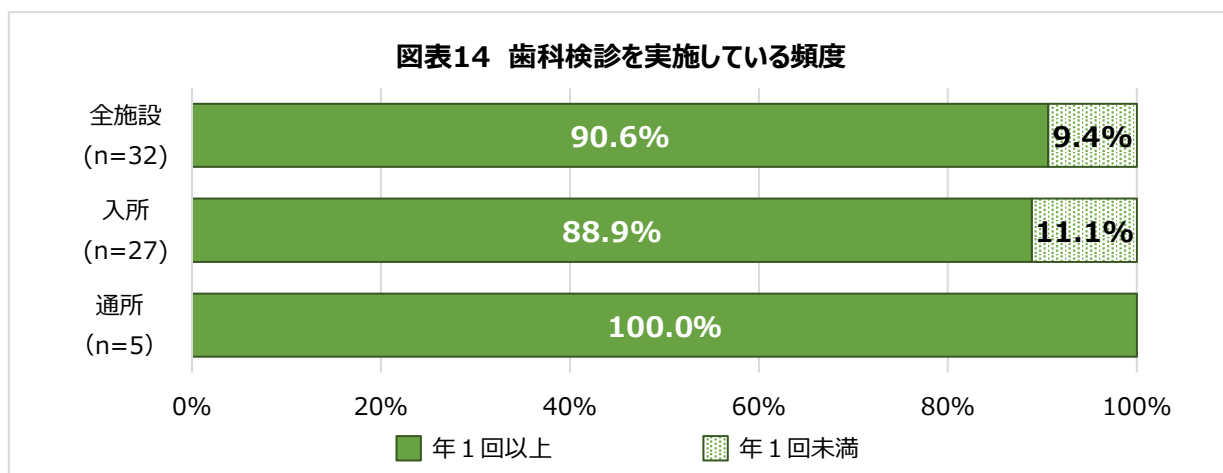
④施設における歯科検診について

ア) 頻度について

入所施設は 55.1%、通所施設は 6.0% 歯科検診を実施しています。

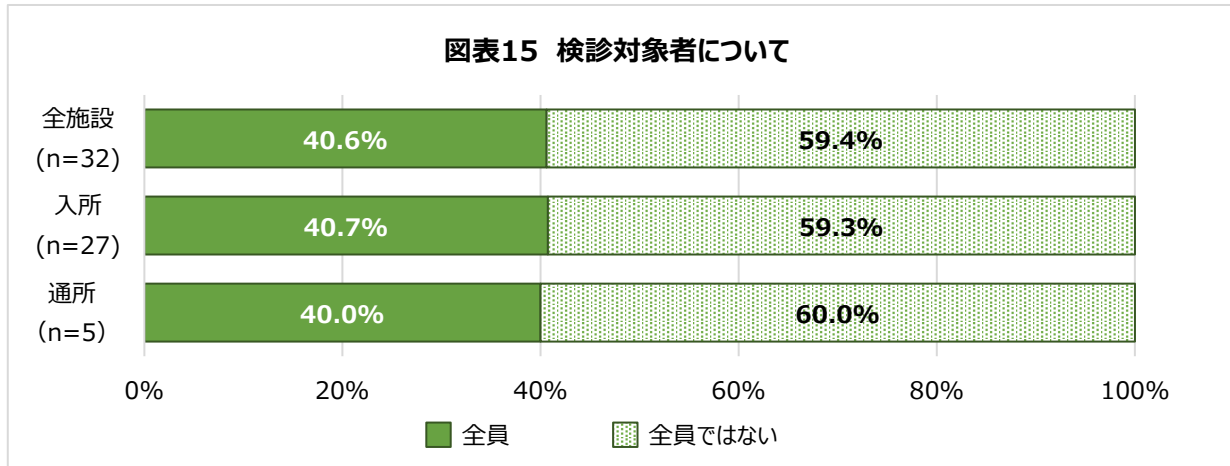


実施しているうち、入所施設が「年1回以上(88.9%)」、通所施設は「年1回以上(100.0%)」の頻度で歯科検診を実施しています。



イ) 検診対象者について

全員を検診対象にしている割合は、入所施設は 40.7%、通所施設が 40.0%です。
対象者の選別基準は、入所施設、通所施設ともに「希望者」が多いです。

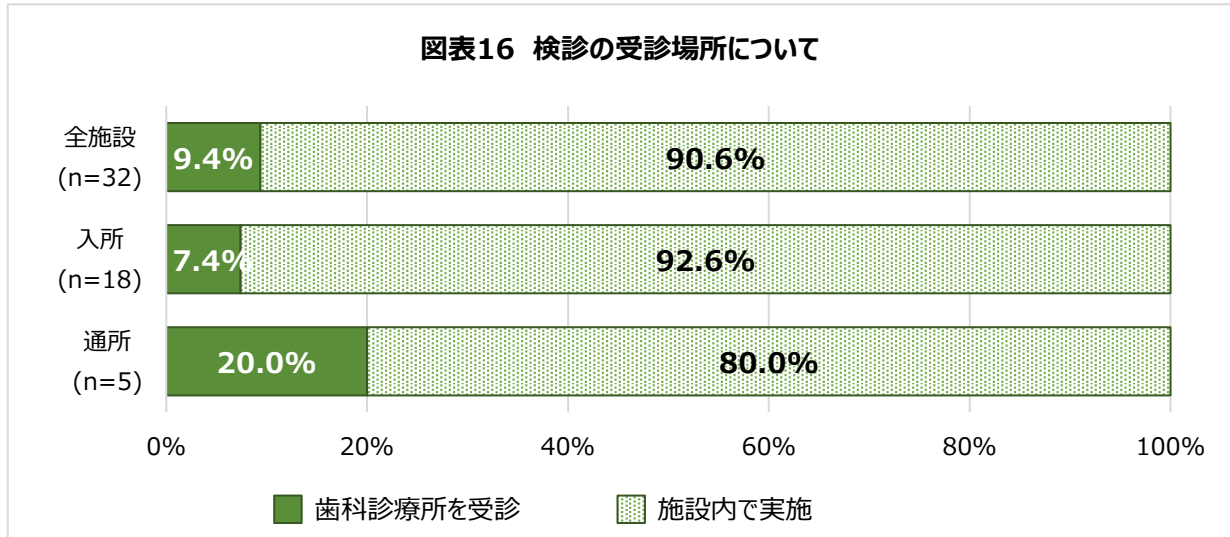


【対象者の選別基準】

希望者	入所	<ul style="list-style-type: none"> 希望者、口腔内トラブルがあった方。 家族や本人の希望を確認。 新規入居時、希望時。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> 金銭的なこともあるため、契約時に歯科受診、往診を希望するか否かを確認して、希望者は定期的に受診している。
口腔内のトラブル	入所	<ul style="list-style-type: none"> 口腔トラブルがあった人。 総義歯やかかりつけ歯科がある方以外の数名が、トラブルがあったときに対応してもらっている。
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> 往診は症状がでたときのみだが、1～2名は症状がなくとも定期的に診てもらっている。 歯がある方を優先に。義歯の方は不具合があったときに実施。 往診を受けている方のみ。 協力歯科医院の歯科医師の判断。 健康観察の情報により選別。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの程度により行う。

ウ) 検診方法について

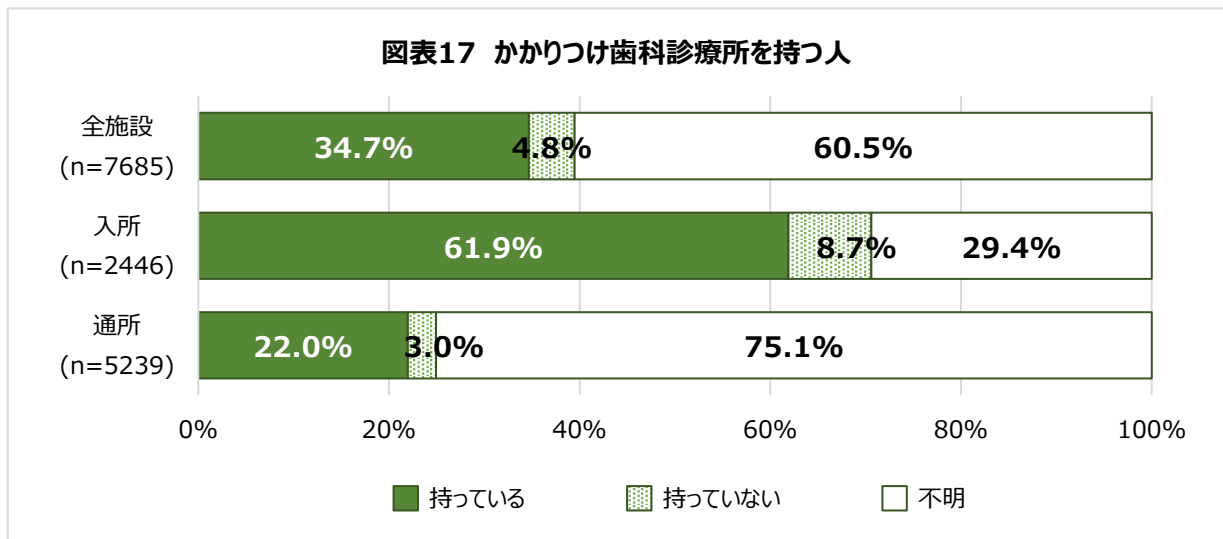
検診を実施している施設のうち、入所施設は「施設内で実施（92.6%）」、通所施設は「施設内で実施（80.0%）」が多いです。



⑤利用者の歯科受診状況について

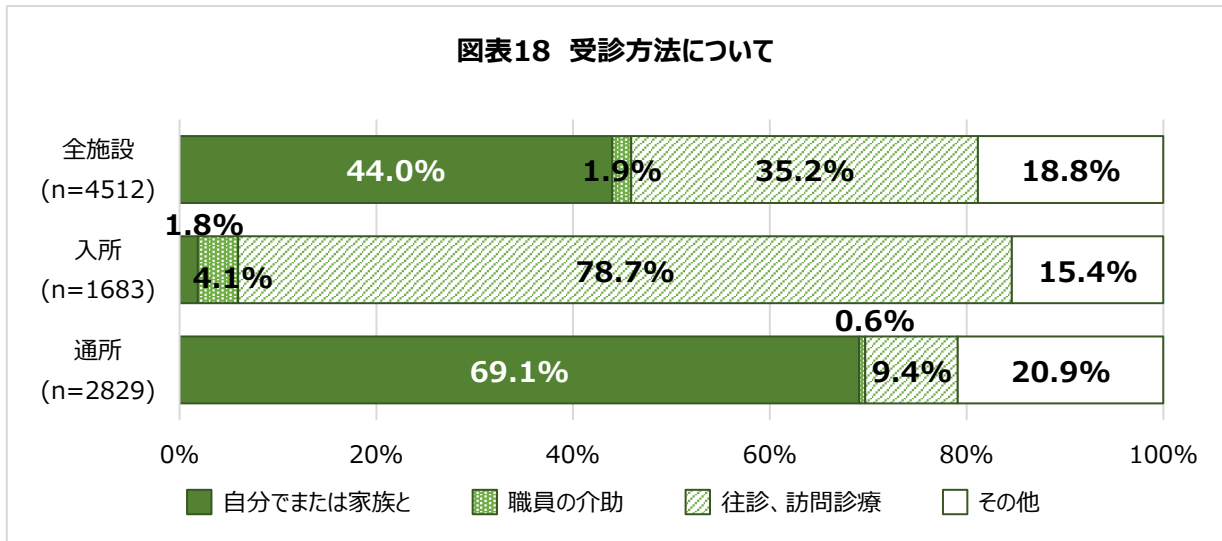
ア) かかりつけ歯科診療所を持つ人は何人いるか

入所施設では「持っている（61.9%）」、通所施設では「持っている（22.0%）」です。



イ) 受診方法について

入所施設では「往診、訪問診療（78.7%）」、通所施設では「自分でまたは家族と（69.1%）」が多いです。

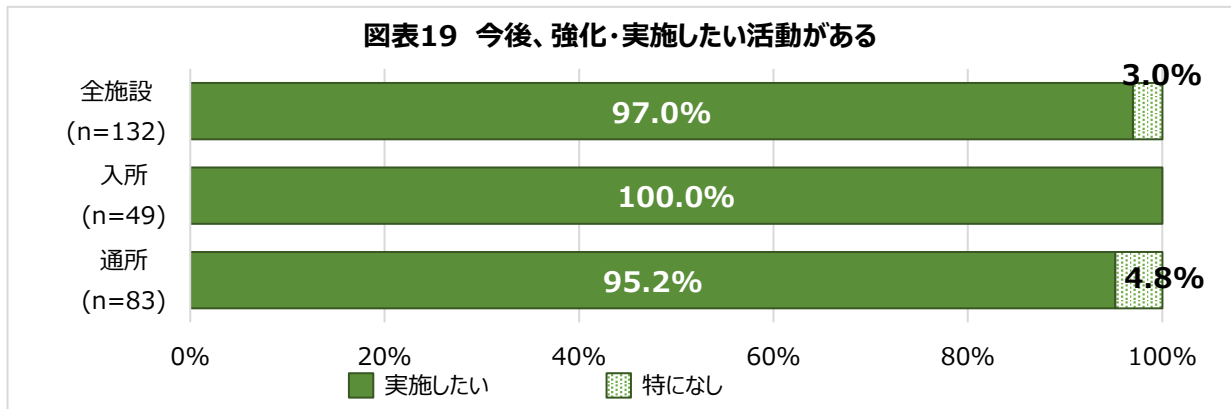


【その他 記載内容】

不明	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が個人で受診しているので状況が不明です。 ・現在、受診はしていないと思われる。 ・歯科受診状況について確認したことがない。 ・歯科受診をしている方はいるが、把握はできていない。
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・家族または職員のどちらかがつきそう。 ・ショートステイは自宅にいる時は自分で受診し、施設利用時は実施せず。ロングステイは協力歯科受診、または施設往診にお願いする。 ・隣接の特養に訪問診療の来所時にあわせて実施してもらっている。 ・利用者の状態等や家族のその時の状況に応じて、受診方法を選択する。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・受診していない。 ・ヘルパー利用にて。 ・必要時等ご家族や担当ケアマネージャーに伝え相談している。

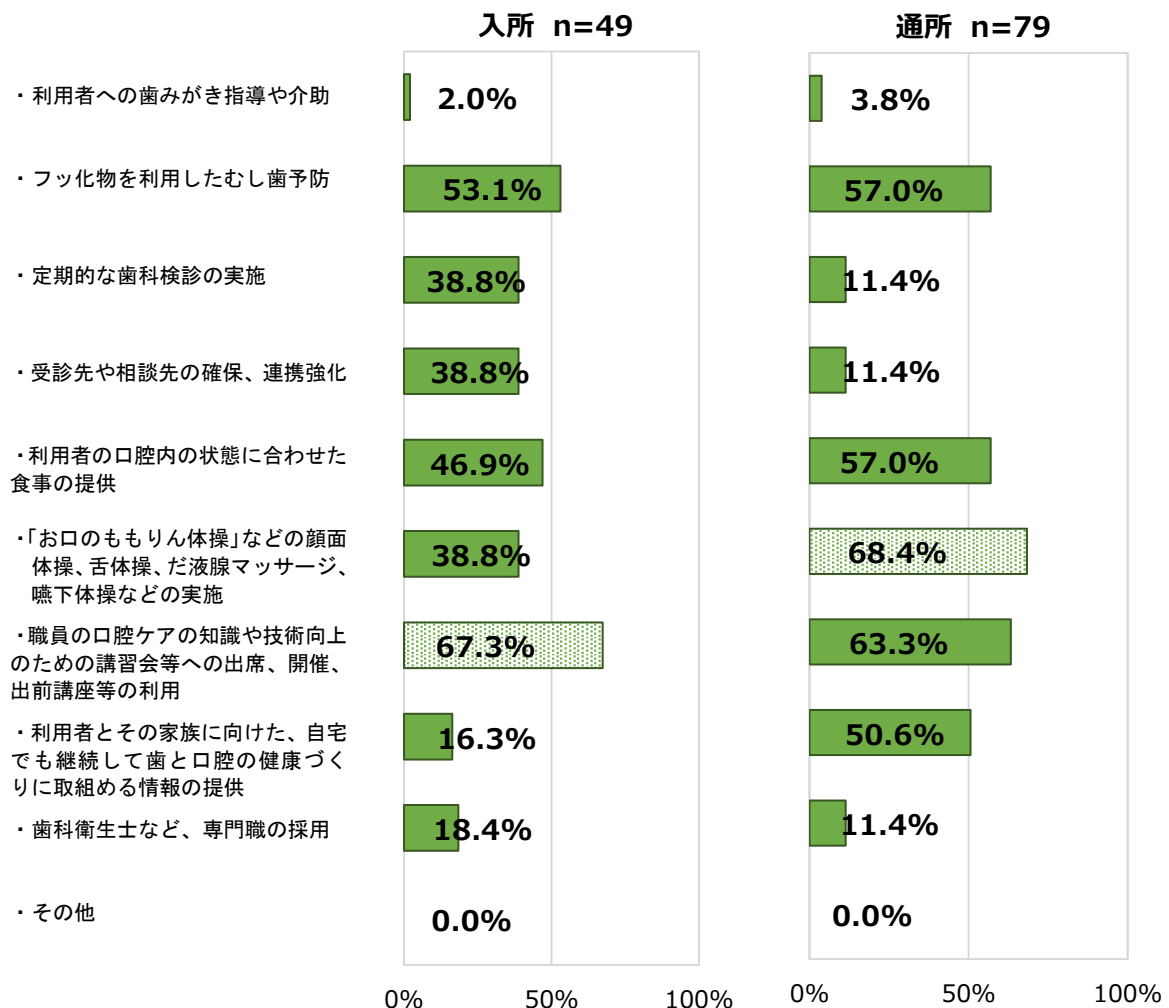
(4) 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動について

入所施設は 100.0%、通所施設は 95.2% 今後強化したい、または取り入れたい活動があります。



内容で一番多い回答は、入所施設が「職員の口腔ケアの知識や技術向上のための講習会等への出席、開催、出前講座等の利用 (67.3%)」、通所施設では「『お口のももりん体操』などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施 (68.4%)」です。

図表 20 今後強化したい、または取り入れたい活動について (複数回答)



3 施設において歯科口腔保健を進めていく上で課題となること（自由記載）

各施設において課題となることについて入所施設が 24 施設から 24 件、通所施設から 42 施設から 43 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	15	1	10	1
2	摂食嚥下について	0	-	1	8
3	施設の現状について	0	-	9	2
4	連携について	2	3	8	3
5	職員の資質向上について	4	2	6	4
6	利用者と家族について	0	-	4	5
7	歯科検診や受診について	2	3	2	7
8	その他	1	5	3	6
合計		24		43	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

口腔ケアについて	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能低下している方が、7割以上のため、指導の継続が難しい。 ・口腔ケアを必要とする利用者にはスタッフがあつく関わりをもつが、自立している方の口腔内チェックまでできていないのが現状。そういう方が一番リスクがあると感じています。 ・認知が進み、口腔ケアに対しての認識がうすれるため、協力がえられない。 ・全入居者の歯科検診は実施できていません。定期的な歯科検診は必要と感じていますが、入居の時点で口腔衛生状態が悪いケースがほとんどです。（むし歯、義歯が合わない・作っていない、歯周病、口臭など）そこから、訪問歯科もしくは歯科医受診となると、その労力を職員体制上生み出せる状況にありません。そのため、日々の口腔ケア実践に力を入れていく必要があると考えられています。 ・入居者様の口腔ケアの徹底 ・認知症のため、口腔内に対しての病識等の欠如や意思表示ができにくくなり、適切な口腔衛生管理及び適切な治療が必要な時に確認できず悪化してしまうことがある。 ・認知症の進行により、意思疎通の取れない方への口腔ケアの実施。介護拒否や抵抗のある方への口腔ケアの実施。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア時、自立している方は本人に任せていることも多く、職員が把握しきれない。参加中はケアを徹底できているが、自宅では不十分な方もいるので、家族指導も必要。 ・利用者様各人について口腔ケアを実施したいが拒否があった場合の利用者への対応。 ・コロナ禍においてご利用者様の楽しみは食が一番大きいので、その食の楽しみを維持できるようにしたい。歯みがきを楽しむ方法を考えたい。 ・同居者の有無にかかわらず自宅で実施しない（できない）方が多く、事業所のみで実施しても効果が薄い。 ・定期的な口腔内の状況把握、検診の実施。

摂食嚥下について	通所	・ムセリを予防、誤嚥性肺炎予防。
施設の現状について	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と場所の確保が困難。 ・職員の負担増。 ・口腔機能向上加算を算定していますが、算定率が25%くらいなので他利用者にも算定をすすめていきたいと考えています。 ・看護師不在の事業所のため、対応できることが限られている。 ・歯科衛生士が固定曜日に週休があるため、全く介入できない利用者がある。 ・利用者毎の個別ケアが統一できていない。関りにムラがある。 ・利用者、家族に口腔ケアの必要性についてきちんと説明できる職員がいない。専門職の必要性を感じていても、採用となると難しく、連携としても費用負担が難しい。
連携について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師や衛生士との連携ができていない。小規模であり、歯科衛生士の採用は困難。 ・多職種連携での誤嚥性肺炎予防
職員の資質向上について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・オーラルフレイルについて、職員の資質向上。 ・口腔ケアの重要性(仕上げみがきの実施。口腔環境の維持・改善、肺炎予防)について各職種の意識向上。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.6月より口腔栄養スクリーニング加算（Ⅰ）をとる方向で計画しております。そのため、職員の口腔ケアの知識・技術向上のため、勉強会をする必要があります。 ・職員への口腔ケアの知識・スキルの向上とその機会づくり。
利用者や家族について	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に向けた情報提供。 ・費用や時間をかけて歯科口腔保健をすすめていくことに当事者やその家族に理解を得られないこともある。
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後の口腔ケアの際に状態把握を行っているが、症状が出てからの対応となってしまうことがほとんどである。予防的な取組強化のため、定期的な歯科検診の必要性を感じている。 ・かかりつけ歯科医を持ち定期受診する場合は入居者様やご家族様に対しての費用負担が発生することのご理解やご協力等についての説明や、協力して頂ける協力歯科医療機関を探ることなど。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科が定期的に（月1回以上）来ていたが、新型コロナウイルス感染予防のため、おもうように診療がなされない。歯科の方からも、緊急以外は、ことわられる事がある。 ・在宅の利用者様は、身体状態や認知症の進行、などにより受診できなかつたり、連れていってくれる人がいなかったりと、かかりつけ医がいたとしても通院することができない人が多いです。家族、ケアマネに報告したとしても実際に受診につながる事がむずかしいです。口腔状態が悪くなっていたり、義歯が合わないことで食事がしっかりとれません。
その他	入所	・現状は往診の歯科医、歯科衛生士と連携がとれている。次年度においては研修会等の依頼をお願いしている。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・すすめて行く上で、どのように行っているか、分からない。 ・現状は、月1回の歯科医師の診察（歯、口腔内チェック診察・治療）。歯科衛生士の歯、歯間、歯垢の除去、舌ブラッシングで口腔内の環境維持されているので、週に1回継続していきたい。

4 利用者の歯や口腔の健康のため、専門職に望むこと（自由記載）

各施設において課題となることについて入所施設 13 施設から 15 件、通所施設から 23 施設から 24 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	0	-	2	4
2	摂食嚥下について	0	-	0	-
3	情報提供・研修会について	6	1	13	1
4	在宅時からの支援について	3	2	0	-
5	連携について	1	5	3	3
6	歯科検診や受診について	2	4	2	4
7	その他	3	2	4	2
合計		15		24	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

口腔ケアについて	通所	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な口腔衛生に関する指導を行ってほしい。
情報提供・研修会について	入所	<ul style="list-style-type: none"> 長期間の入所施設になるため、入所にむけての情報（口腔ケア、治療含む）を頂けるとありがたいです。 口腔ケアの手技、道具などのより良い情報を希望。 勉強会等の開催。 施設職員へ勉強会。（オンライン研修）
	通所	<ul style="list-style-type: none"> 年に1度程度の口腔に関する講習会を開催して頂きたい。（施設内で） 定期的な勉強会の開催や、高齢者へのアプローチの仕方を教えて欲しい。 介護職員でもできる口腔ケアの知識や技術を習得できる研修会の場を設けて欲しい。 認知症状の方への口腔ケアの仕方について、実践と指導を教えて欲しい。 義歯の手入れや、歯みがきの仕方の講習会ができればと思います。 歯みがきの習慣のない方や、認知症等による拒否がみられる方が受診・加療等行えることに注力されている歯科事業所等を知りたい。 ご自宅でできる口腔ケアの内容、困った時の相談先などのチラシ作成・配布。 定期的な検診の呼びかけ。
在宅時からの支援について	入所	<ul style="list-style-type: none"> 通院が難しい要介護高齢者にとっては訪問歯科が要であると思います。特養の性質上、認知的にも身体的にも重度化してから入居となる為、特に意思疎通が困難な認知症高齢者の口腔ケアは職員を悩ませています。 口腔ケアの重要性のポイントについて、在宅時から関りを持ってほしい。 寝たきり、車椅子状態で受診が不可能な方へのバックアップ。※当施設では問題なしだが、地域歯科医療を考慮すると在宅介護者等への支援は低いと考えられる。

連携について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地内に歯科があるため、連携がとりやすい。高齢者が食べることを楽しむため、今後も連携していきたい。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士は在職しているので、在職の衛生士と地域の歯科医の連携を望む。 ・介護保険を利用している利用者で継続的なケアが必要な方がいる場合は、利用している介護事務所にも状況を連絡いただけるとありがたい。今後、互いの連携にもなると思われる。 ・現在、コロナ禍で実現出来ないが、ボランティアで訪問して頂いて、歯や口腔に関する指導をして頂きたい。
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に入居されている方は歯医者を受診するのが難しい方もいます。往診という形で対応可能になってくれるとありがたいです。 ・定期的な歯科検診の実施。（政治的なシステム化）オンライン等での診察や相談しやすい環境づくり。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・受診が必要な時だけでなく、定期的な検査訪問を行ってほしい。 ・せっかく入れ歯を作っても、合わなくて使えない方もあり、さらには何回も作る方もあり、調整は難しいと思いますが、残念に思う事もあります。 ・定期的な訪問。
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の往診の頻度で良い。 ・いつも早急な対応をしてくれる。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は、月1回の歯科医師の診察（歯、口腔内チェック診察・治療）。歯科衛生士の歯、歯間、歯垢の除去、舌ブラッシングで口腔内の環境が維持されているので、週1回継続していきたい。 ・利用者から歯医者に行くことが億劫という声や長期にわたる治療が大変という声を多く耳にします。 ・認知症の方への理解。指示が入らないからと諦めないで治療できる方法を今後社会全体として考えて頂けると、認知症になっても当たり前の生活が送れると思います。 ・利用したことがないのでわからない。

5 コロナ禍により、口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等について (自由記載)

各施設において課題となることについて入所施設 17 施設から 17 件、通所施設から 41 施設から 41 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	感染予防について	4	2	21	1
2	防護用具の調達について	4	2	2	5
3	摂食嚥下について	0	-	10	2
4	情報提供・研修会について	0	-	1	6
5	歯科検診や受診について	5	1	3	3
6	職員の不安について	1	5	1	6
7	その他	3	4	3	3
合計		17		41	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

感染予防について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生に関して歯科往診が入っているため、感染対策に注視しつつ気を使うことが多い。 ・職員が口腔ケアを行う際にフェースガード、ゴーグルを使用するようになった。口腔ケア後、洗面所に飛沫した後の清掃、消毒を徹底して行っていきたい。入所時、退院時、通院時の隔離対応時の予防を徹底していきたい。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア時の順番待ちのソーシャルディスタンスに気を付けた。 ・その他ケア時の飛沫等・消毒負担。 ・食事後の口腔ケアでは、利用者・職員が飛沫等で感染するリスクがとても高いので、使用後のコップ・歯ブラシ等の洗浄・殺菌、保管方法を見直し、より徹底している。 ・三密を避けるため、時間差を設けて口腔ケアを行っている。 ・これまで施設に据え置きになっていた個々人の口腔ケアセットを、毎回のご利用ごとにご自宅へ持ち帰っていただくよう変更した。
防護用具の調達について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア時の防具用の装備はどのようにすべきかどのような対応をすべきかを知りたい。 ・飛沫感染リスクがある中での職員の防護用品等の不足。毎食後でディスポグローブ等が必要となるため、備品確保のための経営的な圧迫がある。 ・口腔ケアや歯みがきのつど、職員はフェイスガードやエプロンを着用し実施しているため、感染対策用品の確保が大変である。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア時はフェイスシールド等着用している。グローブも都度交換が必要だが、在庫が不十分なときがあり困った。利用客同士隣りあわせでうがい等するためガードが必要。(とびはね防止) ・感染防止を強化したために、感染防止の用具の購入金額の増加が大変です。

摂食嚥下について	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食前に口腔体操を行っているが、マスクを着用しているため、利用者様の口の動きや、マッサージが思うようにできない。 ・ 本来はマスク会食が必須かと思いますが、食事時の換気に注意し、食事を楽しむ事を心がけています。全員の方ではありませんが、食事量がUPした方、むせりが少なくなった方が数名見られています。食事前に歌をうたったり、おしゃべりしたり、口腔体操をしたりと嚥下改善につながる運動を取り入れ、口腔ケアは無理のない範囲で会話を楽しみながら、お手伝いさせて頂くようにしております。 ・ 嚥下体操や嚥下訓練において、発生や舌だし等の飛沫が伴う訓練の仕方が変わった。（アクリル衝立やフェイスシールドの使用、マスク越しの発声や口内での舌運動で対応）訓練の効果や効率が極力落ちないように取り組んでいる。
情報提供・講演会について	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のケア向上のための講習会、勉強会の参加が難しい。
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内でのクラスター発生をうけ、訪問歯科診療を休止する期間が生じる。 ・ 定期往診を連携して取り組んできたが、感染拡大により現在施設の方針として停止している。 ・ 歯や口腔トラブルがあっても、コロナウィルス感染のおそれから行きたがらない。また、施設への往診制限で治療が止まっている。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流行期に入ってから受診の必要が出てきた場合（特に軽微な時）受診をすすめるににくい。 ・ 訪問をことわられるケースがあること。感染防止のためには、やむを得ない所もありますが。
職員の不安	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飛沫による、粘膜からの感染予防の為フェイスシールドを使用しているが、それでも完全ではないと思われる。フェイスシールドを使用することによって利用者様が不安・不穏にならないか心配である。 ・ 収束の見通しがつかず、いつまでこのような状況が続くのか不安がある。 ・ フェイスシールドを着用しての口腔ケア実践に変化しました。その点以外は普段通りですが、口腔ケアに介助を要する入居者が8割以上いる中で、マンパワー不足は否認しません。
	通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアの際に、飛沫がかからないようにフェイスシールドを活用しているが、職員からは不安の声が聞かれる。
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診を控えることもなく、変わらない対応を取ってくれているため、苦労していない。 ・ 口腔ケアも、口を開いて下さらない利用者様もいらっしゃるの、上手にケアできるよう指導いただきたい。
	通所委	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でのマスク着用したままでの口腔ケアの仕方が分からないのでご指導を頂きたい ・ なし 感染予防を行いながら口腔ケアを実施しています。 ・ コロナ前後で特に変化した時はない。

